

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 二宮尊徳伝 (9)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

二宮尊徳伝 (9)

尊徳45歳の時でした。

老中首座になっていた小田原藩主と会った尊徳は、財政再建を果たしたその仕法について尋ねられ、次のように答えました。

「荒地には荒地の力があります。

荒地は荒地の力で起こし直しました。

人にもそれぞれの良さや取り柄があります。

それを活かして村を興してきました」

殿様は「それは『論語』にある“徳を以て徳に報いる”というあれだな」と言われました。

尊徳はこの言葉に感激し、その後「徳」および「報徳」という言葉を中心に据えて、自分の思想体系を練り上げていきました。

尊徳は物や人に備わる良さ、取り柄、持ち味のことを「徳」と名づけ、それを活かして社会に役立てていくことを「報徳」と呼びました。

二宮哲学は「報徳訓」という教訓に集約されていますが、その内容を報徳博物館の佐々井先生は「かなほうとくくん」としてわかりやすく表現しました。

一、てんちの いのちで いきている

せんぞの いのちで いきている

おやの いのちで いきている

しそんに いのちを つたえよう

いのちを しっかり つたえよう

(天地自然から与えられ、天地の命令に活かされている貴重な生命を大切に、これを次の世代へ引き継いでいく)

二、ぶんかの めぐみで くらしてる

せんぞの めぐみで くらしてる

おやの めぐみで くらしてる

しそんに めぐみを つたえよう

めぐみを しっかり つたえよう

(文化や繁栄を世代から世代へと継承し発展させていくべき)

三、ごはんのおかげで いきている

きもののおかげで いきている

すまいののおかげで いきている

たはたののおかげで くらしてる

やまののおかげで くらしてる

うみののおかげで くらしてる

こうぼののおかげで くらしてる

みせののおかげで くらしてる

みんなののおかげで くらしてる

もちば もちばで つとめよう

もちばで しっかり つとめよう

(社会的・経済的な分担と協力の関係性はすべて相互依存関係にある)

四、きのうの ごはんで きょういきて

きょうの つとめは あすのため

きよねんの みのりで ことしいき

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

ことしの みのは らいねんへ
いつでも どこでも おんがえし
いつでも しっかり とくいかし
(過去・現在・未来という時間的な流れの中での恩徳と報徳の関係)

報徳の心を身につけて、無意識のうちに実践できるようにとの教えです。
家庭や職場、地域社会など、身近なところから始めなければならないと説いています。

(10) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

📍 サイトマップ 📍 このサイトについて 📍 個人情報保護の取組みについて

📍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.